

特別支援教室「ひばり」通信

ひばり



令和7年4月28日 第2号
府中市立日新小学校
拠点校校長 山田 隼土

あっという間に桜の季節が過ぎ去り、新緑の5月になりました。

新年度が始まって早くも1ヶ月が経ちました。たくさんの初めてを経験してドキドキした子、大きな変化がなくて安堵した子、いろいろな新学年のスタートになったことと思います。ひばり教室の場所も変わり、ドキドキしながらも新しい環境にワクワクした姿がたくさん見られました。4月の緊張から解放され、ありのままの自分を出しやすい時期になります。それをチャンスと捉えて、上手な気持ちの出し方を教えていきたいと思っています。

☆保護者面談のお知らせ

下記の日程でひばり教室の個人面談を行います。1学期のひばり教室での学習について、お話させていただきます。併せて、お子様のよさや強み、課題、今後の支援の方向性等、確認させていただきたいと思っています。日程調整を今年度もGoogleFormsで行います。

QRコードを読み取り、**面談が難しい日時をお知らせください。**

※なお、指定の時間以外は8時半からであれば可能です。

ご希望の方は備考欄にご記入ください。

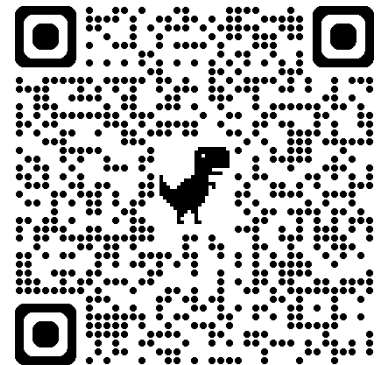
日にち：6月11日（水）～6月14日（土）

時間：11日、13日 9時～16時20分

14日（土） 9時～15時 の間 各児童20分程度

場所：◇日新小 西校舎ひばり教室

※面談場所が変わる際は個別にお知らせします。



入力締め切り

5月12日（月）



4月 ひばりの様子

新年度の小集団学習に

ドキドキしながらもお互いのことを伝えたり受け取りながら積極的に取り組んでいました。新教室にも興味津々でどの学年の児童もたくさん探検していました。

～体育学習発表会 ホントはほくたち困っています…～



ひばり教室に来ている子供たちの多くが体育学習発表会で苦労しています。「いつになく落ち着かない」「並ばないでふらふらしている」「練習をやろうとしない」など、周りと一緒に行動できないこともあるかもしれません。傍から見ると前向きに練習していない、ふざけているように思われがちですが、**実は単に落ち着かないのではなく、運動の困難さ、予定変更への苦しさ、感覚過敏などから、上記のように“困っている”場合が多いのです。**

それを上手に言えずに不適切な行動になってしまいますが、そうなる理由があるはずです。(それも思いがけない引っかかりがいっぱいです。)まずは、子供に「どうしたの?」と話を聞いてみてください。前向きに参加するための糸口が見えてくる場合かもしれません。

対応に困った場合は「ひばり」にお知らせください。子供たちの思いを受け止めながら、対応していく方法を一緒に見つけていきましょう。

☆5月の学習☆ 以下の中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

	基礎	実践
個別学習	・個に応じた指導	・「ひばり」に来ている理由 ・個に応じた指導
小集団学習	【発達段階を追った指導】 ・感覚への気付き 「新聞紙ちぎり（触覚）」 「よく見よう（視覚）」 「ブラックボックス（触覚）」 【即応的な指導】 <u>☆キーワード「すぐやる」</u> ・ソーシャルスキル 「教室の入り方・先生へのお願いの仕方」	【発達段階を追った指導】 ・自己理解「気持ちメーター」 ・感覚について知ろう 【即応的な指導】 ・自己理解、アンガーマネジメント 「怒りスイッチを探せ!」

5・6月の予定

<5月>7日(水)月曜児童振替日

<6月>11日(水)～14日(土)保護者面談